

導入店最新情報

九州初！「炭の家」完成見学会開催！

佐賀県神埼市：(株)プレースホーム



炭が1トも入っているんですか！？

2日間で約160組の
お客様にお披露目しました！



佐賀県のプレースホームによる九州エリアで初めての「炭の家」完成見学会が開催されました。今回は2件のお客様邸が同時に竣工。神埼市、鳥栖市の2会場に分かれての公開となりました。当社からもお手伝いと取材を兼ねてお邪魔させて頂きましたが、まず、その来場者の多さにビックリ！そして、関心を持って下さったお客様の滞在時間の長さも印象に残りました。「今まで見学会のお手伝いでこんなにお客様と喋ったことはない！」と当社スタッフも言う程の大盛況でした。

お客様の声としては、二オイについての感想が多かったように思います。プレースホームさんは「炭の家」を始めずっと前から健康住宅に拘った家づくりをされており、その物件の多くに漆喰を使用されています。お越しになっているお客様にはアレルギーを気にされる方も多く、中には「前は内装仕上げの漆喰の二オイでくしゃみが止まらなかったこともあったけど、今回も同じ漆喰なのにくしゃみが出ない」と話された方もいました。またプレースホームのスタッフの方も「完成直後は漆喰の二オイが気になることもあったが、今回は1週間しか経っていないのに体感で半分以下に感じる」とおっしゃっていました。

この見学会を通して多くのお客様に「炭の家」の空気質の違いを感じて頂くことが出来たと同時に、「プレースホームで家を建てたら健康に暮らせそう」というイメージをより鮮明に持って頂けたのではないかと思います！

炭の家

パートナー募集中

北海道エリア
札幌市 藤建設(株)
網走市 はつじん三共(株)
旭川市 志高土木(株)
滝川市 (株)藤井千田
帯広市 (株)藤エンジニア
帯広市 (株)ユー・アール・エムズ
伊達市 (株)藤建設
函館市 海産業(株)
富良野市 (株)サンエービルド工業
東北エリア
青森県青森市 建設工業アルファ(株)
岩手県滝沢村 サコホーム(株)
秋田県秋田市 (株)むつみホームズ
山形県山形市 (株)加藤建設
宮城県石巻市 ヒクケン(株)
宮城県亘理町 (株)コムロ

関東エリア
埼玉県三郷市 松井産業(株)
千葉県千葉市 (株)おゆみ野住宅
信越エリア
新潟県三条市 小柳建設(株)
※平成22年10月7日現在

ホーム企画センター

「炭の家」導入企業は、全国へ拡大中。道外約200棟達成。

当社ではスグに導入できる「炭の家」のライセンスパートナーを募集しております。詳しくは下記直通ダイヤルまでお気軽にお問い合わせ下さい。

フロンティア事業部直通ダイヤル

TEL (011)756-4824

FAX (011)756-4825

5分で読める！健康住宅で圧倒的な差別化を実現する経営者の為の情報誌



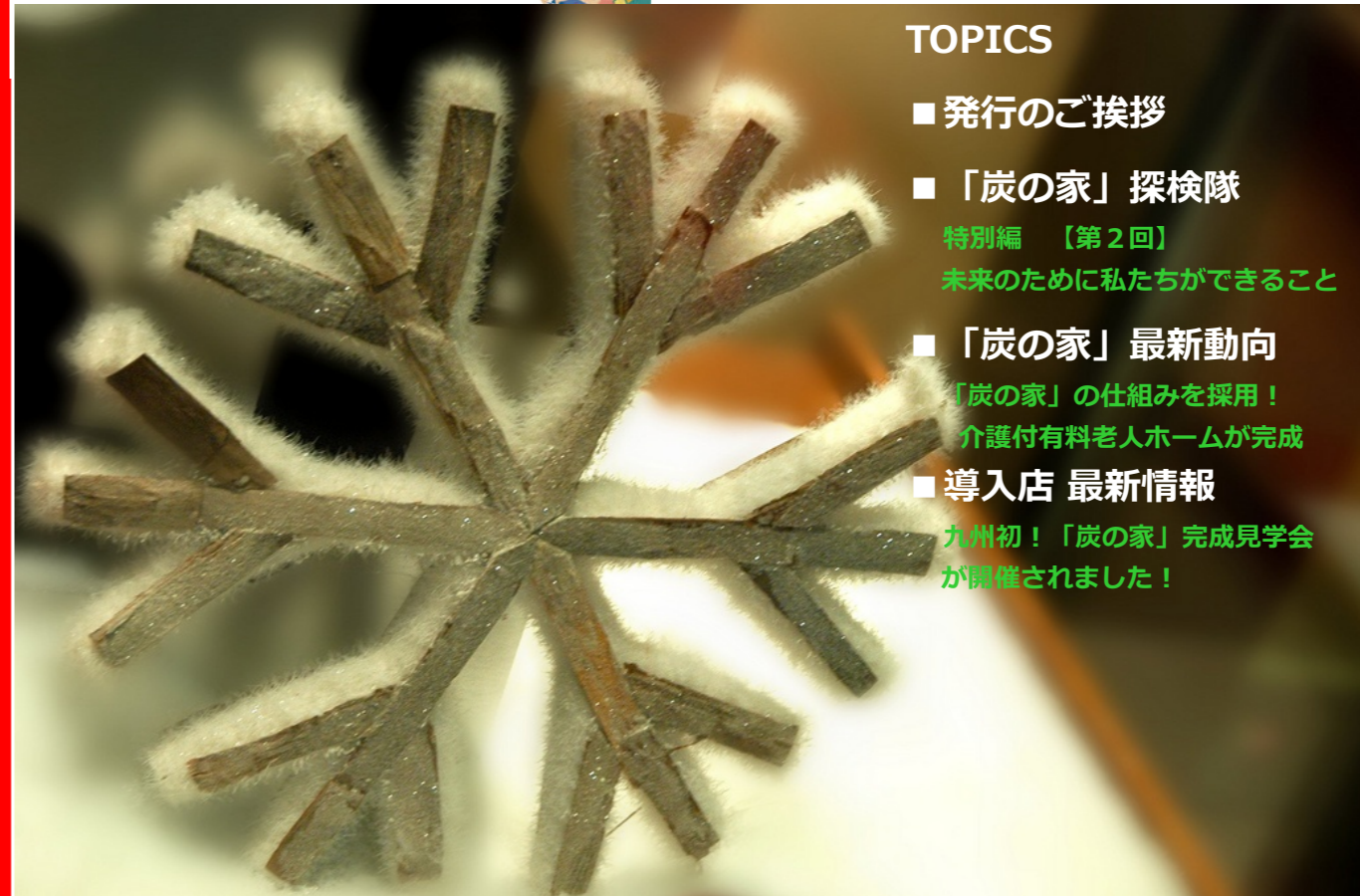
SUMI-炭- TIME



VOL. 16
2010
スミタイム

TOPICS

- 発行のご挨拶
- 「炭の家」探検隊 特別編【第2回】 未来のために私たちができること
- 「炭の家」最新動向 「炭の家」の仕組みを採用！ 介護付有料老人ホームが完成
- 導入店 最新情報 九州初！「炭の家」完成見学会が開催されました！



お知らせ

予告

炭の家フォーラム2011
1月下旬、さいたま市で開催！

視察

炭の家を見に行こう！

炭の家フォーラム2011

明年1月下旬、埼玉県さいたま市にて開催を予定しています。全国に広がり続ける「炭の家」の「今」が伝わる内容を企画しております。関東圏の皆様は是非この機会にご参加ください！尚、日程・会場・内容など詳細につきましては決定次第改めてご案内申し上げます。

只今、全国各地で「炭の家」を建築中！皆様のエリアから近い導入企業様が建てた「炭の家」を私たちと一緒に見に行きませんか？ぜひ見てみたいというご要望がございましたらご案内しますので、別紙アンケート用紙にてお気軽にお申込み下さい。又、札幌（弊社）への視察も随時お申込みを受け付けております。皆様からのご連絡、心よりお待ちしております。

炭の家をもっと知りたい方は ▶▶▶ ホーム企画センター 検索 <http://www.homekikakucenter.co.jp/sumi1t/>

株式会社 ホーム企画センター

お電話でのお問い合わせや
お申込の方はこちらへ！

0120-114-119

001-0038 札幌市北区北38条西2丁目1番26号 創業/昭和43年 資本金/4億9,000万円

フロンティア事業部

いいよ いい空気

■「炭タイム」Vol.16発刊のご挨拶■

日に日に寒くなってきておりますが、「炭タイム」を御覧の皆さまは体調などお崩しになられていませんか？私たちが住む北海道札幌では、早くもスキー場がオープンしたり、タイヤを冬用のスタッドレスタイヤに交換したり、庭の木々に冬囲いをしたりと雪や寒さを乗り切る準備を進めています。

全国を駆け回っている私共は、地域ごとの季節感の違いを日々感じています。暦は一緒なのに服装や行事まで違うと思うと改めて「日本は南北に長い国なんだなあ」と実感します。

そんな日本に建てる住宅はその地域にあったものでなければ意味がありません。北海道でどんなに素晴らしい住宅だとしても、全国どの地域でも受け入れられるとは限りませんし、地域に根差した住宅会社の方々が提供していく事が重要だと感じています。

私たちが提供している「炭の家」は地域特色をそのままに活かし、きれいな空気を室内に供給し続けることが出来る換気システムです。北は北海道稚内市から南は九州佐賀県まで広がった「炭の家」グループはそのことを証明していると考えていますし、今後もこの地域を拡大していきます。まだ、導入店舗のない地域の皆さまにはぜひ詳しいお話を聞いていただき、実際の建物を体感する機会を設けていただけたらと思います。

追記：11月25日から沖縄へ行きます。観光ではなくて「全国健康住宅サミット」へ参加するためですが、当社は分科会のパネラーとしても参加しております。全国で広がる炭の家。詳しくはまた別の機会にご報告させていただきます。

株式会社 ホーム企画センター
フロンティア事業部 古川 秀彦



炭の家探検隊

特別編【第2回】

未来のために
私たちができること



CSRさて、何をしよう？

前号のとおり、一口にCSRといっても様々な取り組みが考えられますが、「炭の家」を供給する

私たちは「炭」そして「北海道」というキーワードのなかで社会的責任を果たす取り組み

ができないか模索しております。

例えば「炭の家」の「炭」は家の中に閉じ込めて燃料として使わないのでCO2を長い年月にわたり固定することになりカーボン・ニュートラルという考え方に合致するのではないかと。そこで「炭の家」1棟につき使用する1トンの炭がどのくらいCO2を固定するのかを換算し、カーボン・クレジットとして販売することが可能であれば、それを使って北海道の森林保護活動を広く行い、間伐して炭にしてまた「炭の家」に使用する・・・というサイクルが出来るのではないかと考えています。

カーボン・クレジットとは？

「カーボン・クレジット」はCO2(二酸化炭素)などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を認証し、取引可能にしたもので、国内にはオフセット・クレジット(J-VET)制度と国内クレジット制度がある。例えば、間伐や植林などの森林の整備によってCO2を吸収した量、化石燃料に代えて木質バイオマスを使うことでCO2の排出を削減した量を「クレジット」として取引することができるので、企業は森林や山村から生み出されたクレジットを購入することで、自らが排出してしまうCO2を相殺(カーボン・オフセット)すると同時に山村の再生に貢献でき、効果的にCSR(企業の社会的責任)を果たすことが出来る。(山村再生支援センター冊子より)

私たちができること

今はまだ「炭の家」のすべての炭を北海道から、という状況には至っておりませんが、近い将来このような取り組みを具体化させて、お客様はもとより、全国で「炭の家」を供給する仲間にも、北海道にも、そして地球にも



役立つ会社として認知して頂けるような取り組みを続けてまいります。

【了】



炭の家 最新動向

「炭の家」の仕組みを採用した 介護付有料老人ホームが完成！



二オイが消えた！？

炭と換気で空気を清浄化する「炭の家」の仕組みを木造戸建て住宅以外の建築物に利用出来ないか？

いよいよその可能性に一歩前進する取り組みがスタートしました。色々なご縁から北海道内で介護事業を展開する**萌福祉サービス(本社・留萌市、水戸康智社長)**が、炭の家のノウハウを採用した初めての施設「フルールハピネスおびひろ」を北海道帯広市に完成させた。

10月16日のオープンに先駆け、視察に訪れた際には戸建て住宅同様に新築時特有の二オイは皆無だった。

後日、空気環境測定を実施したところ、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの空気中濃度について、厚生労働省が定める指針値を大きく下回り(※1)、入居後の効果など、今後の可能性に大きな期待を抱かせる結果を得ることが出来ました。

(※1)

項目	単位	値
ホルムアルデヒド	ppm	0.003
トルエン	ppm	0.004
キシレン	ppm	0.002 未満
エチルベンゼン	ppm	0.001
スチレン	ppm	0.001 未満

厚生労働省室内濃度指針値	
ホルムアルデヒド	: 0.08 ppm
トルエン	: 0.07 ppm
キシレン	: 0.20 ppm
エチルベンゼン	: 0.88 ppm
スチレン	: 0.05 ppm



地元経済誌にも取上げられ話題に！

【財界さっぽろ 11月号】

新たに広がる可能性

今後は、入居された方や、そこで働く方々が効果を実感し快適に過ごせるか？それをデータで証明できるか？といったことが重要なポイントであることは言うまでもありません。現時点ではどのくらいの効果が得られるのかは未知数ですが、きっと良い効果をもたらしてくれると信じています。その後の動向についてはまた誌面にてレポートしてまいりますのでご期待下さい。

また、今回の取り組みをベースとして、例えば、学校やオフィスビルなど沢山の人が同じ空間を共有するような公共性の高い建築物に対応できる仕組みを確立出来れば、その可能性は益々広がっていくのではないかと考えています。

新たな可能性に一歩踏み出したばかりではありますが、いつか皆様にもこの仕組みを利用して頂ける様立ち止まることなく進化してまいります。

【了】